

平成 27 年 9 月 3 日

‘15 水中ロボットコンベンション in JAMSTEC  
開催報告

特定非営利活動法人 日本水中ロボネット  
水中ロボコン in JAMTEC’ 15 実行委員会

表記の水中ロボットコンベンションは開催日数を 3 日間とし、延べ 400 名以上の参加者を得て盛大に開催されたことをご報告いたします。

一般競技部門では、フリー部門に 10 チーム、AUV 部門に 12 チーム、ジュニア部門では 9 チームの参加がありました。今年度は日本財団の海でつながるプロジェクトに採択されることにより、材料費と旅費の支援が可能となり、中学校まで参加の枠を拡げることで参加層が増え、ジュニア部門だけでなく、フリー部門でも高校生の目立った活躍が見られるなど、中高生の存在感が大きくなりました。

例年、一般競技部門では輸送による故障修理なども含めてハードウェアの準備に時間がかかり、ソフトウェアの調整に十分な時間が確保できないという様子が見られたため、今年度は 1 日目と 2 日目午前中までの時間をロボット調整にあてるスケジュールといたしました。これにより、3 日目の水槽競技では、例年よりハードウェアトラブルは減りましたが、最終的に AUV 部門で優勝を収めたのは、ソフトウェアの経験が豊富で、これを充実させた初出場の社会人チームでした。

2 日目のワークショップでは、22 チームのプレゼンテーションと質疑応答が 2 時間以上におよび活発に行われました。参加チームが昨年比べて倍増したジュニア部門では ROV 工作教室で完成させた水中ロボットを使って空き缶回収競争が行われました。勝敗や順位へのこだわりも強く、若い活気に溢れていました。

今年度は開催規模も大きくなり、横須賀市副市長ご一行による激励もあって、より一層活気のある水中ロボットコンベンションとなりました。これはひとえに、多くのご共催・ご協賛・ご後援・ご協力団体のご支援と、参加をくださった皆様のご協力のおかげと心から感謝を申し上げます。今後も参加層を拡げてレベルを向上させながら、海洋技術を支える人材育成に貢献できるよう、発展的な継続をしていきたいと考えております。皆様からの今後なお一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

## 1. 開催期間

平成 27 年 8 月 28 日(金) ～30 日(日)

## 2. 開催場所

国立研究開発法人 海洋研究開発機構 (JAMSTEC) 横須賀本部

〒237-0061 神奈川県横須賀市夏島町 2-15

多目的プール (受付、開会式、水槽競技)

本館 1 階大講義室 (受付、休憩、ワークショップ、表彰式)

本館 1 階第 1 セミナー室 (ロボット調整)

本館 1 階第 2 セミナー室 (ジュニア部門 ROV 工作教室)

他 (構内見学)

### 3. 実施体制

共 催：特定非営利活動法人日本水中ロボネット、国立研究開発法人海洋研究開発機構、社団法人日本船舶海洋工学会海洋教育推進委員会、IEEE/OES 日本支部、MTS 日本支部、テクノオーシャン・ネットワーク、Office of Naval Research Global

後 援：東京大学生産技術研究所海洋探査システム連携研究センター、東京大学海洋アライアンス、九州工業大学社会ロボット具現化センター、東京海洋大学海洋工学部

助 成：公益財団法人日本財団

協 賛：日本水産株式会社

協 力：横須賀市、アクアモデラーズ・ミーティング、松山工業株式会社

実行組織：水中ロボコン inJAMSTEC' 15 実行委員会

委員長	近藤逸人（海洋大）
委員	浅川賢一（JAMSTEC）
委員	有馬正和（大阪府立大）
委員	石井和男（九州工業大）
委員	清水悦郎（海洋大）
委員	月岡 哲（JAMSTEC）
委員	西村 一（JAMSTEC）
委員	彦坂明孝（水産総合研究センター）
委員	増田殊大（東京大学生産技術研究所）

### 4. 参加チーム

#### 一般競技部門(フリー)

(所属無し)	チームアビス海文台（プレゼンのみ）
(所属無し)	TRYBOTS
東京海洋大学ロボット研究会	（チーム名無し）
東京工業大学附属科学技術高校	なんでもしますから
岩手大学	超万太郎
沖縄職業能力開発大学校	沖縄能開大 ROV
山手学院中学校・高等学校	（チーム名無し）
電気通信大学	Dolop
北九州工業高等専門学校	Quad Waters
岡山商科大附属高等学校	（出品のみ）

#### 一般競技部門(AUV)

東京大学生産技術研究所	チームえびす
早稲田大学本庄高等学院	WAQUA
長崎総合科学大学佐藤研究室	あばまる NiAS
岩手大学三好研究室	さっしーR
岩手大学三好研究室	ひれっち
九州職業能力開発大学校	KPC_AUV2015
沖縄職業能力開発大学校	沖縄能開大 AUV
東京海洋大学知能システム研究室	チーム つむさっと

西日本工業大学  
 有限会社イケハウス  
 慶應義塾大学  
 九州工業大学大学院

西工大 眞田研究室  
 ET ロボコン・アクア部門作っちゃおうかな  
 慶應水中開拓チーム  
 Kyutech

**ジュニア部門(ROV 工作教室)**

沖縄県南城市立大里中学校	Team OKINAWA	
神奈川県立海洋科学高等学校	湘南丸	
東京工業大学附属科学技術高等学校 A	チームたかお	
東京工業大学附属科学技術高等学校 B	エターナル オブ サーバーズ	
東京工業大学附属科学技術高等学校 C	あいうえおじま〜ず	
愛知県立三谷水産高等学校・長崎総合科学大学附属高等学校合同チーム		凹凸クラブ
東京都江東区立深川第三中学校	深川っ子	
慶応義塾湘南藤沢中等部・高等部	電工研 A	
慶応義塾湘南藤沢中等部・高等部	電工研 B	

**5. 参加人数**

	フリー	AUV	ジュニア	見学・報道	スタッフ等	来賓等	合計
8/28	24	45	0	1	13	0	83
8/29	27	53	51	2	25	0	158
8/30	27	52	53	8	32	3	175
延べ人数	78	150	104	11	70	3	416

単位：人  
 スタッフ等に JAMSTEC 担当者数は含めず

**取材**

- ・ 日刊工業新聞社
- ・ (株)オーム社「ロボコンマガジン」
- ・ ダイバー(株)「月刊ダイバー」
- ・ 沖縄タイムズ (事後)

**6. 審査結果**

(1) 表彰

<フリースタイル部門>

優勝	山手学院高等学校	(チーム名無し)
準優勝	(所属無し)	TRYBOTS
第三位	北九州工業高等専門学校	Quad Waters

<AUV 部門>

優勝	有限会社イケハウス	ET ロボコン・アクア部門作っちゃおうかな
準優勝	沖縄職業能力開発大学校	沖縄能開大 AUV
第三位	九州職業能力開発大学校	KPC_AUV2015

<ジュニア部門>

優勝	慶応義塾湘南藤沢中等部・高等部	電工研 A
準優勝	沖縄県南城市立大里中学校	Team OKINAWA
第三位	東京都江東区立深川第三中学校	深川っ子

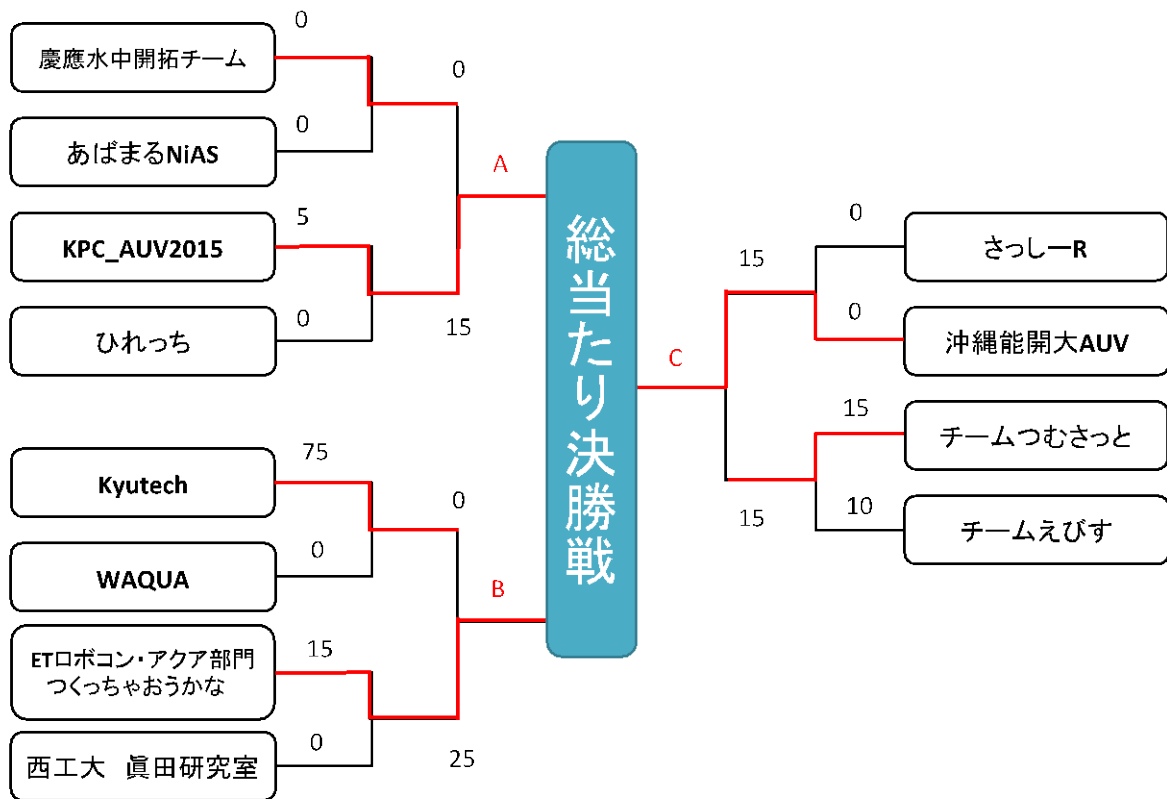
JAMSTEC 理事長賞	九州工業大学大学院	Kyutech
ニッスイ賞	神奈川県立海洋科学高等学校	湘南丸
Golden Crab 賞	北九州工業高等専門学校	Quad Waters
	沖縄職業能力開発大学校	沖縄能開大 ROV
	神奈川県立海洋科学高等学校	湘南丸
	慶応義塾湘南藤沢中・高等部	電工研 A
	東京都江東区立深川第三中学校	深川っ子
	沖縄県南城市立大里中学校	Team OKINAWA

(2) 一般競技部門の結果詳細

総合得点

No.	チーム	重量	プレゼン	水槽競技	総得点	順位
フリー1	TRYBOTS	20	32.7	29	81.7	2
フリー2	東京海洋大学ロボット研究会	20	19.7	17	56.7	8
フリー3	なんでもしますから(東工大附属高)	20	31.0	24	75.0	6
フリー4	超万太郎(岩手大)	20	29.0	29	78.0	5
フリー5	沖縄能開大ROV	20	33.6	26	79.6	4
フリー6	山手学院中学校・高等学校	20	32.4	32	84.4	1
フリー7	Dolop(電通大)	20	28.5	26	74.5	7
フリー8	QuadWaters(北九州高専)	20	33.3	28	81.3	3
No.	チーム	重量	プレゼン	水槽競技	総得点	順位
AUV1	チームえびす(東大)	15	25.2	30	70.2	7
AUV2	WAQUA(早稲田本庄高)	10	27.2	0	37.2	12
AUV3	あばまるNiAS(長崎総科大)	20	21.9	0	41.9	10
AUV4	さっしーR(岩手大)	20	23.8	30	73.8	4
AUV5	ひれっち(岩手大)	20	25.0	0	45.0	9
AUV6	KPC-AUV2015(九州能開大)	20	22.8	40	82.8	3
AUV7	沖縄能開大AUV	20	22.3	50	92.3	2
AUV8	チームつむさっと(海洋大)	20	21.9	30	71.9	5
AUV9	西工大 眞田研究室	20	19.4	0	39.4	11
AUV10	作っちゃおうかな(イケハウス)	20	27.5	45	92.5	1
AUV11	慶應水中開拓チーム(慶應義塾大)	15	26.1	30	71.1	6
AUV12	Kyutech(九工大)	10	27.8	30	67.8	8

AUV 部門 水槽競技  
トーナメント戦結果



総当たり決勝戦結果

	A	B	C
A		0	0
B	45		25
C	35	35	

A: KPC\_AUV2015

B: ETロボコン・アクア部門つくっちゃおうかな

C: 沖繩能開大AUV

(3) 審査委員

日本水中ロボネット		
委員長	近藤 逸人	東京海洋大学大学院 海洋科学技術研究科 准教授
委員	月岡 哲	海洋研究開発機構 海洋工学センター 調査役
委員	吉田 弘	海洋研究開発機構 海洋工学センター 海洋技術開発部 部長
委員	巻 俊宏	東京大学 生産技術研究所 准教授
委員	清水 悦郎	東京海洋大学大学院 海洋科学技術研究科 准教授
委員	有馬 正和	大阪府立大学大学院 工学研究科 准教授
委員	石井 和男	九州工業大学大学院 生命体工学研究科 教授
委員	松本 洋平	東京海洋大学大学院 海洋科学技術研究科 助教
海洋研究開発機構 (JAMSTEC)		
委員	磯崎 芳男	海洋工学センター長

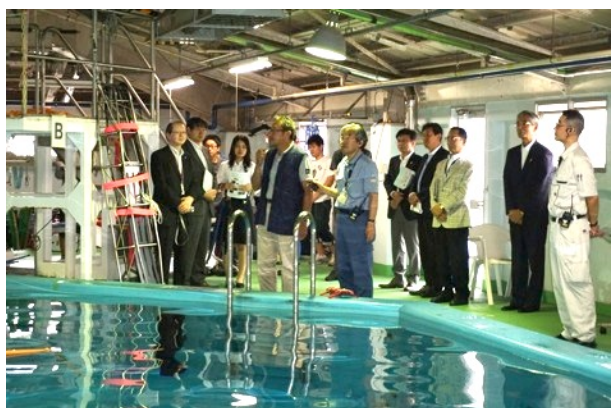
7. 写真

別冊写真集

# ‘15 水中ロボットコンベンション in JAMSTEC 開催報告 写真編



## 開会式





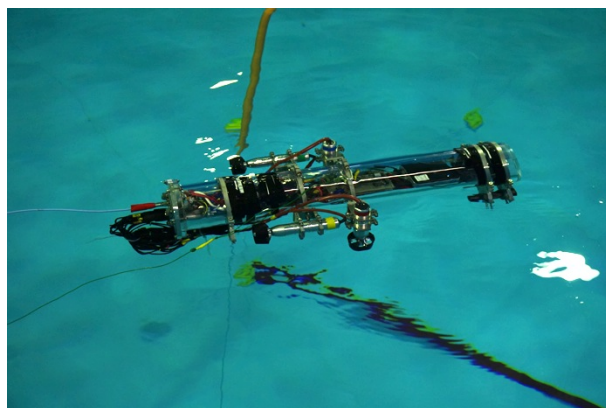
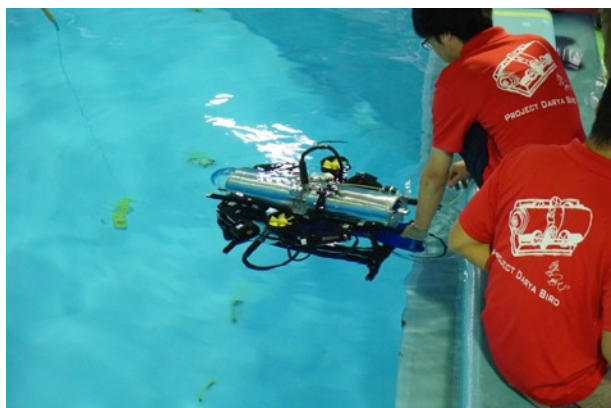
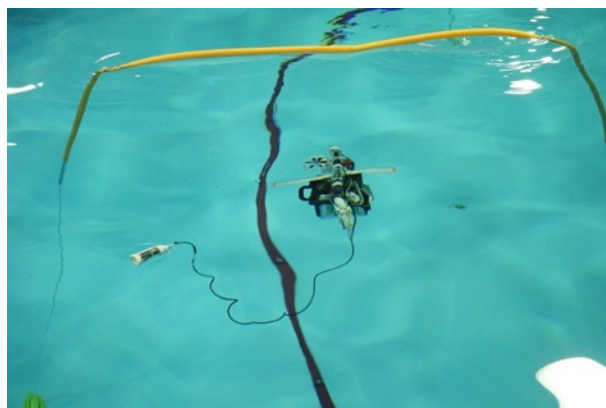
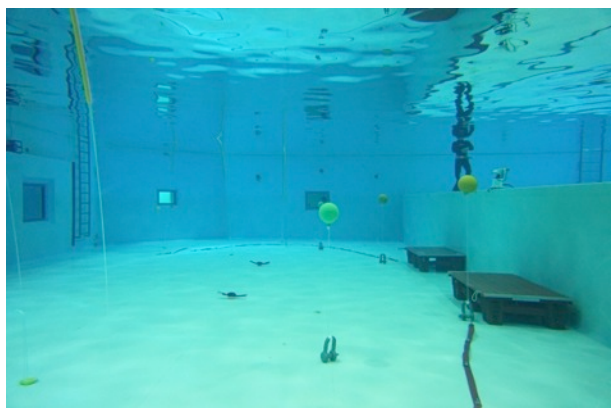
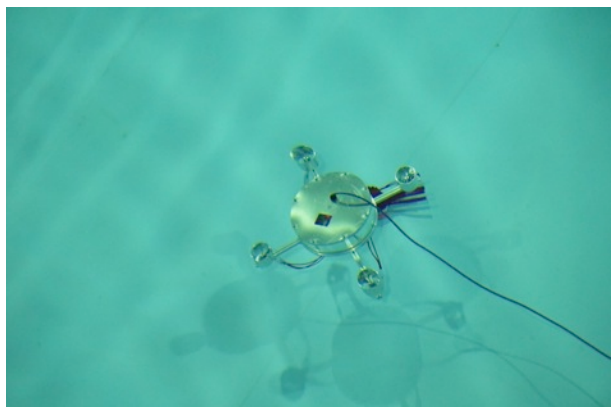
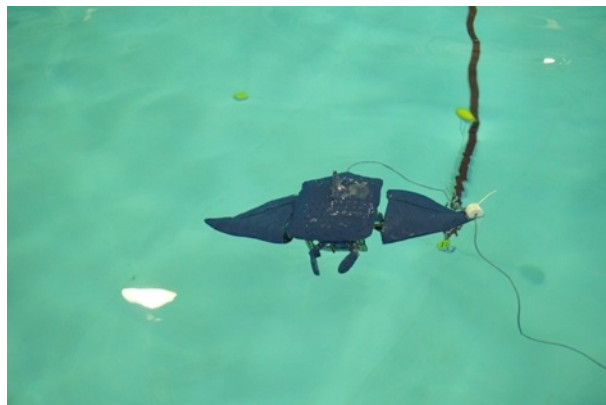
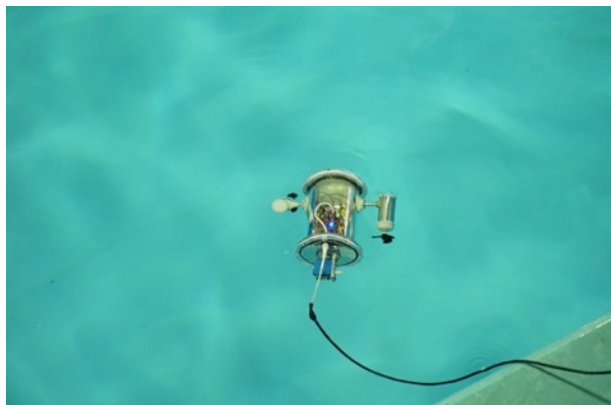
ワークショップ

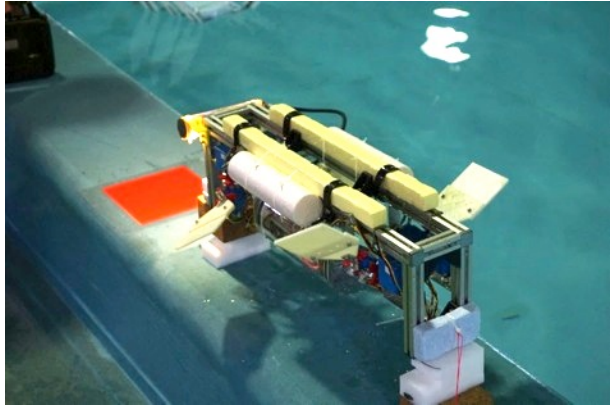


ジュニア部門 ROV 工作教室



一般競技部門





表彰式

